

議事録（議事要旨）〔第3回会議（学校視察）〕

1. 日 時 平成30年9月18日（火）10：40～17：00
2. 場 所 福井市春山小学校、県立藤島高等学校、福井市明道中学校
3. 出席者 安達洋一郎委員、荒瀬克己委員、宇佐美嘉一委員、
荻原昭人委員、角野俊彦委員、進士五十八委員、
中嶋茂男委員、林正岳委員、吉川雄二委員
東村健治教育長、吉井正雄教育委員、八田嘉一郎教育委員、
原公樹教育委員
4. 議事要旨
 - 事務局から、学校視察の目的について、県内小中学校および高等学校の現状を把握し理解を深めることにより、ふくい教育振興推進会議での議論の参考とすることを説明した。
 - 視察した学校ごとに説明を行った。担当者は下記。
福井市春山小学校 齊藤校長
県立藤島高等学校 田中校長
福井市明道中学校 北川校長
 - 委員から、高等学校で普通教室に導入されたプロジェクタを使った授業について、電子機器の使い方がうまく、グループ討議で大学のゼミや企業の研修で使われる手法を取り入れており、レベルが高いとの発言があった。
 - 委員から、個人情報取り扱いへの行き過ぎた配慮が、学校の負担になっている。みんなが内心では行き過ぎだと思っているが、言えば攻撃されるので言えないとの発言があった。
 - 委員から、昨年4月、県教委と県P連が連名で、20時以降は電話相談の窓口を活用するよう保護者に通知しているとの発言に対して、学校から、20時以降も、学校から保護者に連絡せざるを得ないことの方が多い。小学校では、休日は電話に出ないと決めたところもあるが、中学校では、部活動があれば休日でも電話に出ざるを得ないとの意見があった。

- 教育委員から、不登校の原因は何かとの質問に対して、学校から、人権教育が進み、友人関係で不登校になる生徒はいない。むしろ、家庭の放任が原因で、昼夜が逆転し、学校に行けなくなっている。ライフパートナー（大学生）やスクールソーシャルワーカーなどが対応しているが、成果は出ていないと回答した。
- 学校から、現在妊娠中の女性教員が競技経験のない野球部を担当している。外部指導員の配置により、現場はとても助かっているとの発言があった。